

福井県に適した健康機能性大麦品種「はねうまもち」

1 はじめに

近年、消費者の健康志向が高まり、従来の大麦品種に比べて健康機能性成分(β-グルカン)を多く含むもち性大麦への関心と需要が増大しています。福井県に適したもち性大麦品種「はねうまもち」を選定したので紹介します。

2 品種の特徴

- 1)もち性大麦品種です。
- 2)生育時期などの特性は、ファイバースノウとほぼ同じです(表1)。
- 3)ファイバースノウに比べて千粒重が小さく、7%程度低収ですが、実肥の施用で収量・容積重とも向上します(表1)。また、実肥の施用で子実β-グルカン含量も高くなります(図1)。

表1 はねうまもちの品種特性(2015~2017)

施肥	品種	出穂期 月/日	成熟期 月/日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	千粒重 g	収量 kg/10a	対標準比 %	容積重 g/L
標準施肥 (実肥なし)	ファイバースノウ	4/15	5/28	86	5.3	323	38.1	464	-	684
	はねうまもち	4/15	5/27	85	5.2	335	36.2	431	93	666
実肥 (3kgN/10a)	はねうまもち	4/15	5/29	87	5.2	320	37.8	496	107	693

3. 注意点

実需者は、子実β-グルカン含量が6%以上あることを求めています。もち麦生産にあたって、他県との競争が予想されます。産地の信用を維持・向上するため、高い収量で高品質の麦を生産してください。

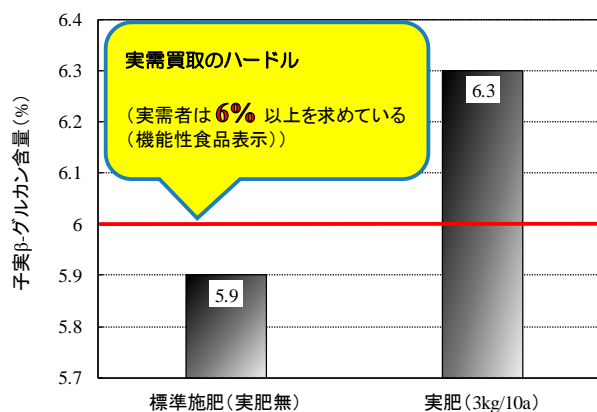


図2 はねうまもち子実β-グルカン含量と実肥の関係
・実肥:開花期に尿素を施用(福井農試 2015)

(農試 福井米研究部 作物G)